

第4回 江東未来会議

(第5分科会：行財政運営・協働)

次 第

日時:平成19年11月29日(木) 午後7時00分～9時00分

場所:江東区役所7階 第73・74会議室

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 本日のワークショップの進め方について
- 4 ワークショップ
 - ① 重点テーマごとの課題に関するグループ討議（討議1：課題の抽出・整理）
 - ② 重点テーマごとの課題に関するグループ討議（討議2：施策・事業等の検討）
 - ③ めざすべき将来像の確定（討議3）
- 5 その他
- 6 閉会

(配付資料)

- 会議開催日程調整シート_第5～7回

(事前配付資料)・・・開催案内同封資料

- 第3回江東未来会議 議事概要
- 第3回江東未来会議 討議結果図
- 第4回江東未来会議 討議のながれ

第4回江東未来会議（行財政運営・協働分野）討議のながれ ～課題の整理とめざすべき将来像の確定、事業等のアイデア抽出～

1. 本日の討議の目的

第3回に引き続き、グループA、B、Cごとにめざすべき将来像に向けて、課題の深耕、是非取り組みたい施策、事業等の検討を行います。その上で、めざすべき将来像の大タイトル・文言等を再チェックします。

2. 進め方

(1) めざすべき将来像の確認（事務局整理・作成の確認）

- ① 第3回の討議（A・B・Cグループの討議結果）を踏まえ、事務局で整理・作成した、めざすべき将来像（将来像1、2、3）を確認します（A・B・Cグループごとに着席）。
- ② ①（将来像1・2・3）について、合意が得られた場合は、整理・作成しためざすべき将来像に基づいて、本日の討議を進めます。

(2) 重点テーマごとの課題に関するグループ討議（討議1：課題の抽出・整理）

- ① グループ討議の内容：「行財政運営・協働分野における課題の抽出・整理」
 - ・ 今回のグループ討議の内容は、第3回に続いての深耕です。具体的には、(1)で確認された、めざすべき将来像のテーマごとに、「めざすべき将来像」を実現するうえで解決すべき課題、問題点は何か、という視点に立って、重要なことを抽出、整理してください。
- ② グループ討議の方法
 - ・ グループ内で討議の進行役を決めて頂き、進行役の方を中心に、グループ全員で討議してください。
 - ・ 記録に残すべき事項は、各人がポストイットに記入・貼付することが基本ですが、別途記入係（グループを代表してポストイットや模造紙に意見を記入）が必要と判断した場合は、誰か1人に任せるのではなく、分担あるいは、持ち回りで行うようにしてください。
 - ・ グループごとの討議の記録は、ポストイットと模造紙に書き出された内容をもとに事務局が作成します。記録に残したい意見等はすべてこれらに書き出すようにしてください。
 - ・ 課題・問題点は、事務局で整理・整理した案の各テーマの中にある論点の中グループ、小グループを参考にしてください。ただし、必ずしもこれにそって検討して頂く必要はありません。
 - ・ 書き出された課題・問題点について、分野、対象、地域、要因などの観点から類似性、共通性があると思われるものをグルーピング（検討・整理）し、グループの名称を検討、決定していきます。これにより、課題・問題点がどのような領域に多いか検討していきます。

(3) 重点テーマごとの課題に関するグループ討議（討議2：施策・事業等の検討）

- ・ 「めざすべき将来像」の方向性が決まり、その課題・問題点が見えてきたら、次はそのギャップを埋める、具体策（施策・ハード事業・ソフト事業等）について検討します。
- ・ 進め方は、(2)と同様です。討議1.と討議2.は討議の進捗によっては、連動し、同時進行することも充分考えられます。その際は柔軟に対応していただ

いて結構です。

- ・ ただし、討議1. と討議2. は必ず行ってください。時間配分にご留意ください。

(4) めざすべき将来像の確定（討議3）

- ・ (2) (3) を踏まえて、「めざすべき将来像」の大体タイトル・文言等を再チェックし、確定します。

(5) 全体報告・意見交換

- ・ グループごとに、本日どのようなことが討議されたかを全体に向かって報告し、内容の共有をします。

(6) 次回へ向けての検討

- ・ 現地見学会
- ・ 報告書

3. 時間配分（あくまで目安）（19時00分～21時00分）

*本日の進め方の説明	19時00分～19時10分
(1) めざすべき将来像の確認	} 19時10分～20時45分
(2) 重点テーマごとの課題に関するグループ討議 (討議1：課題の抽出・整理)	
(3) 重点テーマごとの課題に関するグループ討議 (討議2：施策・事業等の検討)	
(4) めざすべき将来像の確定（討議3）	
(5) 全体報告・意見交換	20時45分～20時55分
* 休憩は適宜	
(6) 次回向けての検討	20時55分～21時00分

以上

第4回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

Aグループ

行政評価システム (施策、サブ施策、事務事業評価)

問題点

評価システムを知らない、難しい

とにかく今の評価の仕方は専門的すぎるような...

政策全体の評価を区民にいきなりやって！と言われても難しい。
具体的内容に即して評価の分解が必要では？

事業の評価システムがあることを知らない

区民が知らない(このシステムを)

評価方法・評価をしている事業などが区民に知らされていないのではないかと？

区民が様々な、区の制度、チェックシステムを知らないのだから、参加できるように

区民全体が評価に関わるのは(色々な意味で)不可能

評価基準？

評価の内容 区民の声・補助金の使途など

今の評価もそれなりに面白いけれど...

今の評価は自己評価のみ！

安ければ良いという考え方はダメな場合があります(コムスン)

区民の評価を取り上げていただけない現状(区民=利用者)

行政サイドはNPO活動や、その成果をどのように評価し、行政に反映させているのか

国や都の補助金？助成金？は目的達成されているか(どのように使われているか)

目指すべき将来像と10年後

抜本的な対策

新たな評価基準

区民が評価すべきだが、評価するための知識・情報が必要では？

評価基準を作ろう!!
①お金のモンダイ
②利用度
③区民の意見

区民が評価できるような人材育成・勉強するシステム(しくみ)が、まず必要では...

参加する人はどうしても偏ってしまう

知識を高める
↑
ただ文句を言うのではなく

新評価システム

評価する人 <しくみ>機関を新たに作る

第三者評価委員会はある？

区 + 区民 + 第三者機関のcheck

評価って...
⇒投票するの？
⇒アンケートなの？
⇒???

目指すべき施策の方向性から区民と一緒に考えないとcheckだけではなく...
⇒今回の未来会議もその一環?!

×××検討会設置

<協働>
区民・区役所・事業者

言い放しにしない
区長への手紙

オンブズマンでは難しい

政策経営室だけの問題だけでなく、各セクションの人達も評価に参加する

評価表彰システム
↓
皆が頑張るので...

既存の制度(議会)にどうさびを打つか？

区民の小さな声をダイレクトに議会に(小委員会、分科会)に届くシステム

本当に区民が評価システムに参加するのであれば、区民の行政評価委員を選び、その行政評価委員が行政の運営の調査を行えばいい

評価基準や財政指標を作り出すのは、区民には無理ではないか？
だから、区民ができることから参加する。評価対象とする事業の選び、事業評価を受けての対策への提言

事例につつまない介入しないを原則に各町内の小さなうわさ、困り事、トラブルを収集する人を作る

区民参加型で評価する事業を選ぶ

評価した後の対策を提言

パブリックコメント
↓
コメントだけでなく提言も求める

パブリックコメントを求める

パブリックコメントで区民参加の公平性を担保

事業実施後の再評価

財政再建具体案
・杉並区方式(住民税0計画(仮))
・区債・国債の余分な予算を運営して、住民税にあてていく

オープン議会
立ち止まりNGで議会の様子を歩きながら眺められる
↓
①ガラス張り
②出張区議会(委員会)

見出し(複線)

問題点(実線)

解決策・アイデア(点線)

第4回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

Bグループ

1 職員のビジョン教育

区長への手紙の回答は、各々担当者の回答で関係者討議した様子は見受けられない。討議して答えを出してもらいたい。縦割り行政である。

新しい職員が時間がたつごとに言い訳がうまくなる

どのような行政を目指しているのかビジョンを職員が共有していないのでは

区長への手紙担当者の回答になっている協議して出していない

ガードレールの内側に放置自転車を止めている

わかりにくい行政の抽出

2 協働参画 公開を積極的に！！

ゴミ問題、例えばサーマルにすることなど、もっと事前に区民の意見を聞いて参考にしていたきたい

前例主義！

区民まつり 血洗い機使えない 都立公園

各委員会等で陳情者の意見を
・聞く場をもって欲しい
・傍聴者の制限をはずして

区民を信頼してもっと協働の場を増やして欲しい

実現できない理由は山ほど言うが、実現のためにできる一つの可能性に挑戦しない！！

区と住民とで協働することを増やしたらどうか

事業実現の予算化に区民の思いが反映させられるように

3 区の実態をスリムで効率的で血の通ったものに！！

区が所有している事業所、出張所等の個数、内訳が解らず

区の職員数と課・係がいくつあり、それぞれ何をしているか不明

同じような課が他の部にもあるのではないか

福祉センター
・老人
・高齢者

わかりやすくするための解決策

区民も参画して職員と未来のビジョンを共有する場(教育・研修も含む)を持つ

○区民コーディネーター
○職員コーディネーター 各々4名で
"区民の声を活かしま省"を設ける(環境・福祉・教育・健康)

すべてのことに応じられるコーディネーターを置く

どこかの行政自治体ですぐやる課があったが、当区に作ってはどうか

課・係の目標を設定し、その達成率を区報、Web等で公開

新たな方針を出す際には、事前に区民意見を聞く
・ネットで フォーマット
・区報で 同じにして
・Faxで データ化

行政のためでなく、区民のための区政をするには、色々な会合に区民に数名参加してもらう

各委員会の条例を区民参画で新たに作成し、区民の意見を反映しやすくする

各委員会の広聴スペースを拡げる

未来の子どもを育む課を各課連携で設ける

時系列な作業日報をつけ、Webで公開し、区民がいつでも監視できるようにする

各課で進めているプロジェクトを長期・短期・中期に分けて公開する

"情報公開"インターネットを有効に活用して、すべてをオープンにする。同じフォーマットで即データ化できる。

それに加えて、区報の活用を更に進める。

・投稿欄
・区民作成コーナー
⇒随筆、小説なども含めて
・読むと得するコーナーがある
⇒大江戸温泉御招待

解決策を有効につなぐためのツールとして活用

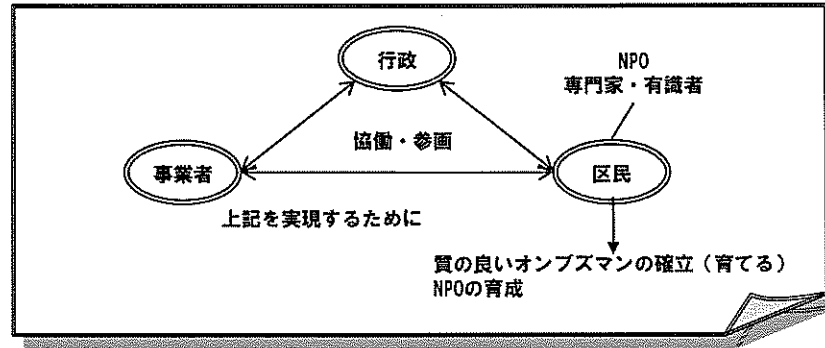
タイトル(複線)

わかりにくい行政の抽出(実線)

わかりやすくするための解決策(点線)

第4回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

Cグループ



ボランティア活動(清掃など)に対する支援のしくみ

介護、保育ママに対する支援

人材登録しくみづくり

ボランティア支援 支援者に対する

関心の薄い人をどのようにして巻き込むか

例:新しい住民 しくみづくり

江東区を寝るだけの場の人 (区外で働く・区外で学ぶ)

ネットワークづくり 人と人とのネットワーク

情報共有

通勤・通学者が意見を言う場がない/少ない

発言の場を設ける

ヒヤリングの場

区の介護のPR 例:保育ママのシステムのPR不足

PR確立 // レベルアップ 現実化に向けてのPR

情報公開

災害時の三者一体化の実現 しているのか

公共施設の運営を協働を実現できていない 例:文化センター 公園

周辺の地域区民が維持管理する→運営までも

「審議会」のあり方?

公募へ (会の性格にもよるが)

区報のあり方

区民参加のページ

問題点・課題(実線)

解決策・アイデア(点線)